

保育の視点

幼稚園の生活は、何かを一斉にさせることから始めるのではなく、一人一人の幼児が自然な生活の流れの中で、安心して直接的で具体的な体験をしていくことを大切にしなければならない。

保育を行うに当たって大切な視点を以下の三点にまとめる。

1 個を育てる。

幼児にとっては、信頼し、頼りきれる援助者が必要となる。幼児はその援助者である教師との信頼関係を基盤にして、あるがままの自己を表出しながら次第に周囲の環境に働き掛けていく力を身に付けていくことができる。教師は幼児の生育歴・家庭環境・地域の環境の違い、行動・態度・理解・経験等を含めた発達の段階や個性の違い等、一人一人の実態を把握し、発達課題を明確にしながら、それぞれの幼児の興味や関心に即した活動への援助を心掛けることが大切である。

一人一人の幼児の記録をとり、指導の在り方を振り返り、幼児への指導のねらいやその内容を明確にして指導に臨むことが大変重要である。

2 集団を育てる。

教師との信頼関係を基盤にして幼稚園の生活に安定感をもった幼児たちは、やがて、周囲の物や人に働き掛けようとする。ときには摩擦を生じながらも適切な援助を受けることによって、活動や人間関係に広がりや深まりを見せ始め、学級の一員としての自覚も生まれてくる。

そこで教師は、一人一人の幼児の思いや願いを受け止めながら、よりよき共感者となることが重要である。一人一人をかけがえのない存在として捉える教師の姿勢によって、互いを大切にし、協力し合う姿勢を身に付けた温かい集団が育つようになる。

指導の中では、幼児の自発的な活動を大切にするとともに、その中でも共通体験させたい活動や発達に沿って経験させたい活動を幼稚園や学級の目標に照らし合わせて計画的に進めることが必要である。

3 教育環境を整える。

教師は、常に幼児が自己の存在を実感し、活動したいという意欲がわくよう教育環境の整備に努めることが大切である。

指導形態及び指導体制

幼稚園の生活は、幼児が自分から周囲の環境に働き掛けて、様々に遊ぶことを中心に展開する。幼稚園の生活のづくり手、担い手は幼児自身である。生活の主体が幼児自身であることから、活動の形態は、教師の一方的な考え方で決めるものではなく、幼児が自ら営む生活の中に自然につくり出されてくるものであると考えることが必要である。

すなわち、幼児が活動している場合において様々な指導の形態が見られる

が、個人、グループ、学級全体いずれの場合においても幼児が自ら主体的に遊ぶ姿が重視されなければならない。教師が幼児の欲求や興味、目的意識等を洞察し、それに合った自然な活動の形態を幼児と共につくり出していくことが重要なポイントになる。

幼児が自らを高めていくことができるような遊びを展開するためには、教師の適切な援助が大切である。

個人での活動、グループでの活動、学級全体での活動等、多様な形態や、自然体験や社会体験のための園外保育等多様な保育を行う中では、多くの幼児が散開してしまいがちであるため、諸活動を一人の教師が全て掌握することは難しい。また、幼児は関わる相手によって様々な側面を見せることから、多数の教師の関わりによって一人一人のよさや可能性を広げる視点も大切である。こうしたことから、学級を基本としながらもその枠を超えた柔軟な指導方法として、複数の教師が共同して保育に当たるティーム保育等によって、きめ細かい指導の充実を図ることが大切である。

ティーム保育に当たっては、適切な役割分担を行い、日常の保育での情報を交換し合って、多面的な幼児理解、幼児の実態や発達に即した必要な指導や援助を効果的に進めることも大切である。

その際、それぞれの教師の特性や得意なことを生かし、幼稚園全体で流動的かつ柔軟な協働体制を考えていくことが重要である。

障害のある幼児等への指導

障害のある幼児等への指導に当たっては、幼稚園教育の機能を十分生かし、集団の中で生活することを通して、全体的な発達を促していくことに配慮しなければならない。そのために、特別支援学校等の助言又は援助を活用しつつ、個々の幼児の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うことが大切である（本編P73 IV-5「特別支援教育」参照）。

さらに、全教職員が、個々の幼児に対する配慮等の必要性を共通理解するとともに連携に努める必要がある。その際、教師は障害のある幼児等のありのままの姿を受け止め、幼児が安心して周囲の環境と十分に関わり、発達していくようにすることが大切である。

また、学校、家庭、地域及び医療や福祉、保健等の業務を行う関係機関との連携を図り、長期的な視点で幼児への教育的支援を行うために、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し活用することが求められる。これらは、障害のある幼児一人一人に対するきめ細やかな指導や支援を組織的・継続的かつ計画的に行うために重要な役割を担うものである。